

教育支援・国際交流 推進機構



教育、大学運営



【活動概要】

全学的な教育方針を企画・立案するとともに、学部・研究科等と連携して教育プログラムの自主的な質保証及び質向上に関する取り組みを支援しています。具体的な活動は以下になります。

○ 教学マネジメントの実施・運営

シラバスの充実、学生との意見交換、授業実施状況に関する教員へのアンケートを通じて、学生主体の教育の充実に取り組んでいます。

○ 教育の内部質保証(自己点検・評価)の実施・運営

授業アンケート、教育力アンケートを実施・分析するとともに、教育プログラムの自己点検・評価を実施して改善に繋げ、その結果を外部に公開しています。

○ エンrollment・マネジメントの実施・運営

eポートフォリオ(右図)の構築・運営により学生の自己調整学習を支援し、初年次からのキャリア形成、卒業後のフォローアップについて取り組んでいます。

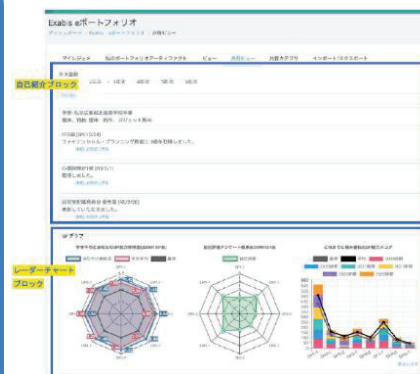
○ 学修成果の可視化

学修成果を多角的に分析・可視化し、結果を教育プログラムに提供して改善に活用します。

○ 全学的なFD・SDの企画・実施及び部局等との調整支援

全学教職員対象の講演会などFD・SDを企画・実施し、授業公開や学外講習などの情報提供を通じて、教育の質向上をおこなっています。

eポートフォリオ



【担当】教育支援・国際交流推進機構 高等教育開発センター
連携: 学生部 教育支援課

教職を目指す!

「学び・遊び・つなぐ」プロジェクト

教育



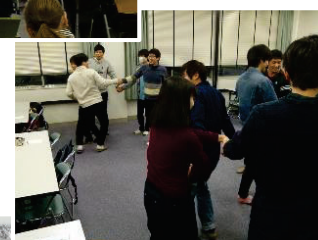
学びの教室



学びの教室



遊びの教室



つなぐ教室



【活動概要】

「自らを高めることができる」「国際的な視野を持つ」「授業がおもしろい」「創造的な授業ができる」「他職種と協働できる」、そうした教員を養成するためのプロジェクトです。

- 学びの教室: 主に学校現場(幼・小・中・高・特支)で働いている教員を大学に招き、授業づくりやクラスづくり、キャリア形成を学びます。
- 学びの座談会: 若手の先生と共に、ざっくばらんに学校の様子や教員採用試験のことまで話し合います。
- 遊びの教室: 遊びを通しての学びを、遊びながら学びます。近年はプログラミング教育をテーマとしています。その他、ブッククラブの企画もあります。
- つなぐ教室: 多様化する子どもたちや社会の課題への対応、学校内外での連携、グローバルな視野など、ひろく教育と社会に関する現代的課題を考えます。鳥取県教育委員会と連携し、中学生と語り合うトークプログラムも実施しています。

【担当】教育支援・国際交流推進機構教員養成センター、
学生部教育支援課教職教育係

教育、社会貢献、大学運営



【活動概要】

学生支援センターでは「縁の下の力持ち」をモットーに、学生支援をおこなってきました。学生一人ひとりが孤立せず、安心して学べる環境を整え、個を大切に居場所づくりを目指しています。学生への個人対応と併せて、グループ活動を通して自他の違いを理解したり助け合いを行っていくことができるよう、様々な活動をおこなっています。

- **なんでも相談**：学生の学内でのワンストップ相談窓口です。
- **サポートマーク**：サポートマークを身に着けることで、「お手伝いしますよ」というサポートの意思表示をおこなっています。学生・教職員がマークの付いた様々なグッズを身に着けています。
- **アクセシビリティリーダー（AL）**：様々な場面でアクセシブルな社会づくりをリードしていける人材を育成することを目的に、教職員と学生を対象にALの養成をおこなっています。本学ではALⅠ級とⅡ級を取得できます。
- **学生サポーター**：学生サポーターの仕組みを作り、学生による学生のサポート活動をおこなっています。
- **コミュニケーションワークショップ**：他者との意思疎通を円滑にするため、日々の生活で使えるコミュニケーションスキルについて考えるワークショップです。
- **小グループ活動**：調理・運動等を通して、楽しみながら少人数でのコミュニケーションに慣れることを目的に活動しています。

【担当】教育支援・国際交流推進機構 学生支援センター

学生支援センター



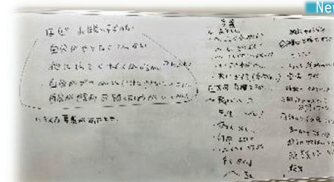
共通教育棟A棟の2階にあります。メールや電話でも、なんでも相談を受け付けています。

アクセシビリティリーダー



2023年度2級AL認定証授与式の様子。今後の活躍を期待しています！2024年度から1級も取得可能です。**New**

コミュニケーションワークショップ **New**



他の参加者の意見を聞いて学ぶことも多々あります。

サポートマーク



学内の投票で決定したマークです！ピンバッジ、キーホルダー、ステッカーなどがあります。

思いやりのある鳥取大学を目指します。関心のある人、着けてみたい人は学生支援センターまでどうぞ。

学生サポーター **New**



定例会で、居場所作りなどの企画を考えています。

小グループ活動



小グループ活動として焼きいもの会を催しました。協力して作業をおこなうことで、話が盛り上がりしました。

New 2024年度、新規導入活動！新しい取組にも積極的に挑戦しています。

タフで実践力のあるグローバル人材の育成を目的とした
グローバルゲートウェイプログラムの開発

教育 大学運営



【活動概要】

鳥取大学では、タフで実践力のあるグローバル人材の育成を目指して、平成24年度から鳥取大学Global Gateway Program (GGP)を実施しています。学生はGGPを通じて、夏休みや春休みの期間に、海外で語学研修や異文化体験、海外の協定校等での研究活動など、様々なプログラムに参加できます（図1）。また、留学効果を高めるため、留学の前後も語学力やコミュニケーション力向上のために、国内で語学強化コースや英語イマージョンプログラムを実施しています（図2）。

海外プログラムでは、英語・異文化研修（台湾、マレーシア）及び海外実践教育プログラム（ウガンダ、メキシコ、マレーシア）を実施しており、ポストコロナにおいてはマレーシア、タイ、フィリピンで新しいプログラムの開発と、ハイブリッド型の事前研修など新しい取り組みをしています。本学では、「教育理念」である「知と実践の融合」の下、長年海外で実践的な教育研究活動を展開してきました。その成果をもとに、海外実践教育プログラムでは、学生の身体的及び精神的健康を強化及び育成するために、過酷な環境・異なる文化、極端な気候条件のある乾燥地域の発展途上国および新興国で実施されます。

さらに、自分のキャリアに特化することに興味がある学生は、交換留学等にも参加できます。こうした留学経験を経た学生は、卒業する頃にはグローバル社会を生きていくために必要な能力を備えた学生になることができます。また、鳥取大学では、海外において安全な勉学、生活、滞在ができるよう海外渡航を予定しているすべての学生に対し、海外安全教育の受講を義務付けています。

【担当】教育支援・国際交流推進機構 国際交流センター

教育支援・国際交流推進機構
国際交流センター



図1. 鳥取大学海外プログラム
(Global Gateway Program)

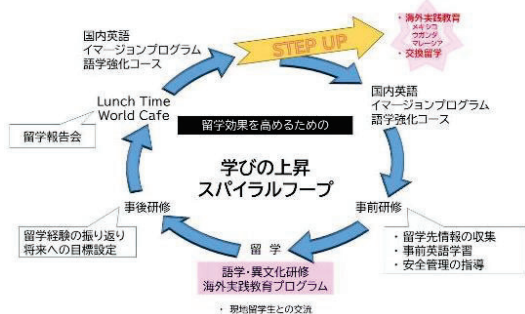


図2. 留学効果を高め、ステップアップするための国内及び海外プログラムのスパイラルフープ

教育 社会貢献 課外活動



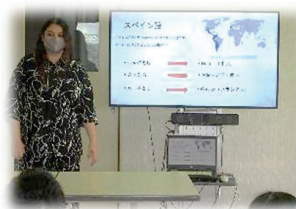
【活動概要】

鳥取大学教育支援・国際交流推進機構国際交流センターでは、地域の自治会や小・中・高等学校等に、外国人留学生や国際交流団体の学生を派遣し、国際理解・異文化交流の機会を提供しています。

【活動例】

- 留学生による（日本語/英語での）自国紹介のプレゼンテーションやクイズ
- 留学生による母語でのあいさつや自己紹介のミニレッスン
- 留学生による自国での子どもの遊び紹介
- 児童・生徒や地域住民による伝統文化・生活文化紹介
- 児童・生徒による学習成果発表
- 児童・生徒による学校・地域の紹介・案内
- 留学生と地域住民による協働活動

【担当】 教育支援・国際交流推進機構 国際交流センター



小学校での国紹介
プレゼンテーション

高校生による英語での町案内



高校生の英語での発表に
コメント



地域の方との餅つき交流